



首都圏の働く女性654人に、花粉症対策について聞いた。

【花粉症の症状】

花粉症の症状があるかを聞いたところ、「あると思う」61.5%、「ないと思う」30.4%、「わからない」8.1%と、花粉症の症状を自覚している人は6割となった(グラフ)。年代別に見ると、「あると思う」は20代で52.7%、30～34歳で60.6%、35歳以上で67.1%と、年代が高いほど多くなった。

花粉症の症状では、「鼻水」84.0%、「目のかゆみ」83.0%、「くしゃみ」78.1%が多く、次いで「鼻づまり」55.6%と続く(グラフ)。どの年代においても「鼻水」「目のかゆみ」で、8割以上となった。

花粉症の症状を感じる時期は、「春のみ」が49.0%と半数近くを占めており、「春とその他の時期」44.3%。「1年中感じる」という人も6.8%いた(グラフ)。20代では「1年中感じる」人が14.5%と高い。

花粉症の症状を自覚した時期を聞くと、「4～7年前」が24.5%と最も多く、約1/4となった。次いで「16年以上前」17.4%、「2～3年前」16.9%。「昨シーズン突然」症状を自覚した人は5.3%と、近年でも増加し続けているようだ(グラフ)。

花粉症だと医師に診断されたかを聞いたところ、「診断された」のは70.2%。「診断されていない(自分で花粉症だと思っている)」人も29.8%いた(グラフ)。

花粉症だと医師に診断された人に、昨シーズンの初めて診察を受けた時期を聞くと、「2月」が20.5%と最も多く、次いで「3月」17.3%、「1月」12.6%となった。また、「昨シーズンは診察を受けていない」という人も29.5%と、約3割であった(グラフ)。20代では「3月」、30代以上では「2月」が多い。

昨シーズン医師の診察を受けた人のみに、診察を受けることで症状は軽くなっているかを聞くと、「軽くなっていると思う」56.0%、「軽くなっていないと思う」30.1%、「わからない」14.0%となった(グラフ)。

毎年の花粉症対策としてところがかけていることは、「マスクを着用している」62.4%、「外出先から戻ったら、手洗い、うがい(鼻うがい・洗眼含む)をする」62.4%が多く、次いで「天気予報で花粉飛散予報をチェックする」41.9%、「(症状が出る時のみ)医者に診察してもらい症状を緩和する薬(注射含む)を処方してもらっている」38.8%と続く(グラフ)。

シティリビング オフィスで働く女性のための情報紙。一流企業で働くOLとのコミュニケーションを最も効率よく実現するためのマルチアプローチを展開しています。

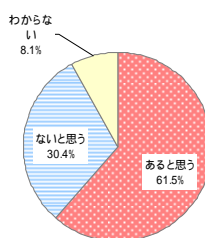
(シティリビングについて詳しくは <http://cityliving.jp/>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

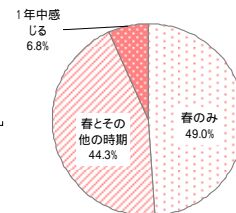
(グラフ) 花粉症の症状があるか (n=654)



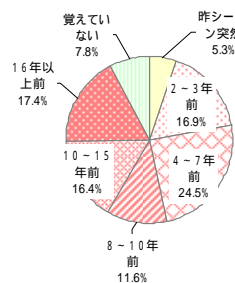
(グラフ) 花粉症の症状 (n=401)



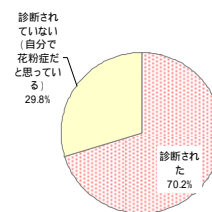
(グラフ) 花粉症の症状を感じる時期 (n=400)



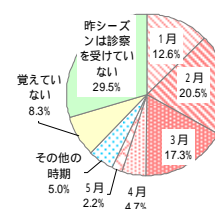
(グラフ) 花粉症の症状を自覚した時期 (n=396)



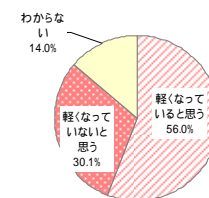
(グラフ) 花粉症だと医師に診断されたか (n=396)



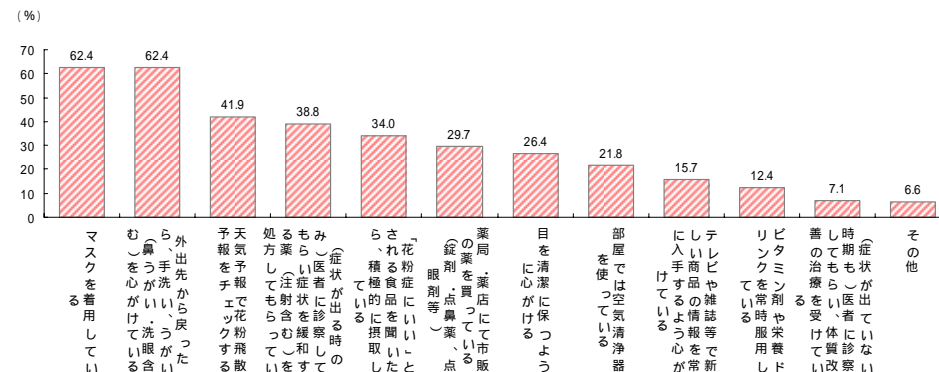
(グラフ) 昨シーズン、初めて診察を受けた時期 (n=278)
<花粉症だと医師に診断された人のみ>



(グラフ) 診察を受けることで症状は軽くなっているか (n=193)
<昨シーズン医師の診察を受けた人のみ>



(グラフ) 毎年の花粉症対策としてところがかけていること (複数回答) (n=394)





【花粉症の薬】

花粉症の薬に求めるものを聞いたところ、「効き目」86.1%が最も多く、次いで「眠くならない」67.4%、「持続性」59.4%、「早く効く」43.4%と続く(グラフ)。

よく利用する飲み薬は、「病院の処方薬」が64.6%と圧倒的に多く、「ストナリニ」9.8%、「病院で処方される漢方薬」7.4%(グラフ)。

よく利用する飲み薬を利用している理由は、「医者から処方された」66.2%が圧倒的に多く、次いで「効果がある」27.4%、「眠くならない」9.1%、「飲みなれている」7.4%となった(グラフ)。

また、よく利用する目薬の商品名は、「病院の処方薬」が56.3%と半数以上。次いで「アルガード」17.3%、「エージーアイズ」9.0%、「ロートCキューブ」8.7%と続く(グラフ)。

よく利用する目薬を利用している理由を聞くと、「医者から処方された」60.1%、「効果がある」18.5%、「安い」11.7%、「すっきりする」9.7%、「手軽」9.1%となった(グラフ)。

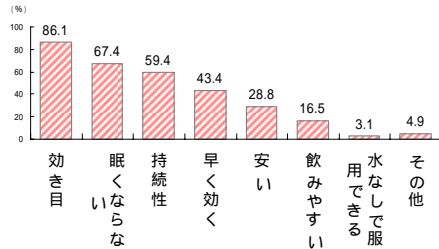
花粉症の季節に目の症状で困っていることを聞いたところ、1位「かゆみ(166件)」、2位「コンタクトができない・合わない(43件)」、3位「涙が出る(22件)」、4位「赤くなる(19件)」、5位「充血(17件)」

よく利用する点鼻薬は、「病院の処方薬」56.4%、「アルガード」12.8%、「ナザール」8.6%、「フルナーゼ」6.8%となった(グラフ)。

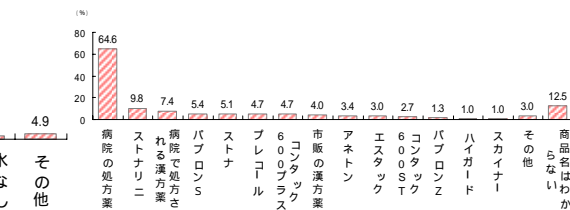
よく利用する点鼻薬を利用している理由は、「医者から処方された」66.2%、「効果がある」27.4%、「眠くならない」9.1%となった(グラフ)。

現在使用中の点鼻薬で「使いにくい」ことや「困っている」ことはフリーアンサーのキーワードからカウントしたところ、1位「特になし(30件)」、2位「人前では使えない(9件)」、3位「口・喉に流れて苦い・まずい・痛い(8件)」、4位「効き目がない(7件)」、5位「鼻から液が垂れる(5件)」となった。

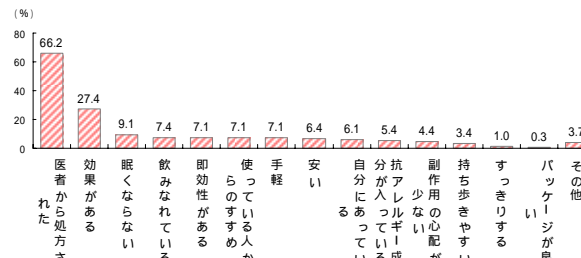
(グラフ) 花粉症の薬に求めるもの (n=389)



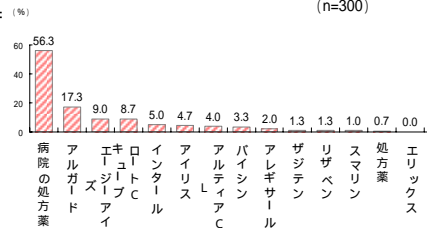
(グラフ) よく利用する飲み薬 (n=297)



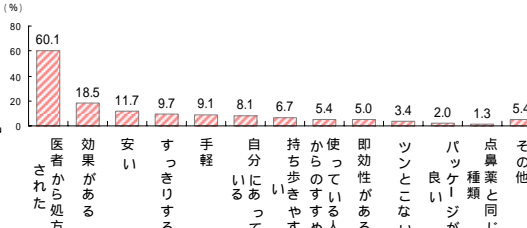
(グラフ) よく利用する飲み薬 利用している理由 (n=296)



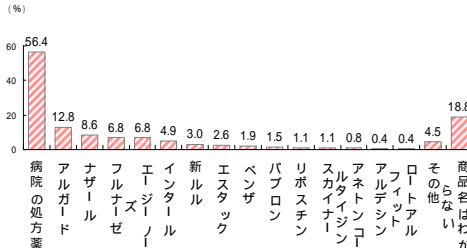
(グラフ) よく利用する目薬の商品名(複数回答) (n=300)



(グラフ) よく利用する目薬 利用している理由 (複数回答) (n=298)



(グラフ) よく利用する点鼻薬 (n=270)



(グラフ) よく利用する点鼻薬 利用している理由 (n=263)



シティリビング オフィスで働く女性のための情報紙。一流企業で働くOLとのコミュニケーションを最も効率よく実現するためのマルチアプローチを展開しています。

(シティリビングについて詳しくは <http://cityliving.jp/>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430



【マスク】

よく利用するマスクのタイプを聞いたところ、「立体タイプ」58.0%、「ブリーツタイプ」53.1%、「ガーゼタイプ」15.0%となった(グラフ)。

よく利用するマスクの商品名は、「超立体マスク」が43.8%と圧倒的に多く、次いで「抗ウイルスマスク」6.6%、「病院で購入したもの」2.8%、「のどぬーるマスク」2.8%と続く(グラフ)。一方「商品名はわからない」人も6割近くいた。

よく利用するマスクを利用している理由を聞くと、「安い」35.6%、「息がしやすい」33.1%が並んで多く、「手軽」18.6%、「花粉ブロック効果がある」17.3%、「圧迫感がない」16.4%と続く(グラフ)。

マスクの主な購入先は、「ドラッグストア」が91.1%と圧倒的であった。次いで「薬局」12.0%、「スーパー」10.2%と続く(グラフ)。

【ティッシュペーパー】フリーアンサーのキーワードからカウント

花粉症の時期によく購入・使用するティッシュペーパーの商品名は、1位「鼻セレブ(66件)」、2位「ローションティッシュ(22件)」、3位「エリエール ローションティッシュ(18件)」、4位「スコッティカシミア(17件)」、5位「クリネックス ローションティッシュ(15件)」となった。

また、そのティッシュペーパーを使用する理由は、1位「やわらかい(74件)」、2位「鼻(64件)」、3位「痛い・痛くならない(51件)」、4位「肌(31件)」、5位「赤い(17件)」

【ポケットティッシュ】フリーアンサーのキーワードからカウント

花粉症の時期によく購入・使用するポケットティッシュの商品名は、1位「鼻セレブ(32件)」、2位「ローションティッシュ(11件)」、3位「エリエール ローションティッシュ(7件)」、4位「保湿ティッシュ(5件)」、5位「クリネックス ローションティッシュ(4件)」となった。

【食品・飲料】フリーアンサーのキーワードからカウント

花粉症対策としてよく利用する食品は、1位「ヨーグルト(61件)」、2位「しそ(8件)」、3位「甜茶(6件)」、4位「のど飴(3件)」、5位「バナナ(2件)」

飲料では、1位「甜茶(53件)」、2位「べにふうき茶(9件)」、3位「お茶・緑茶(7件)」、4位「凍頂烏龍茶(3件)」、4位「ヤクルト(3件)」となった。

<回答者プロフィール>

年齢：20代 20.0%、30～34歳 41.9%、35～39歳 38.1%。平均年齢 32.9歳。居住地：東京都 60.2%、神奈川県 14.1%、埼玉県 12.5%、千葉県 12.5%、茨城県 0.6%。未既婚：未婚 71.6%、既婚 28.4%。世帯タイプ：親と同居(独身) 39.0%、一人暮らし 28.0%、夫婦二人暮らし 20.0%、夫婦と子供 7.2%、その他 5.8%。職業：正社員(一般職) 47.6%、正社員(総合職) 28.1%、派遣社員 17.7%、契約・嘱託社員 4.7%、公務員 0.6%、自営業・その他 1.2%。

<調査実施>シティリビング

シティリビング オフィスで働く女性のための情報紙。一流企業で働くOLとのコミュニケーションを最も効率よく実現するためのマルチアプローチを展開しています。

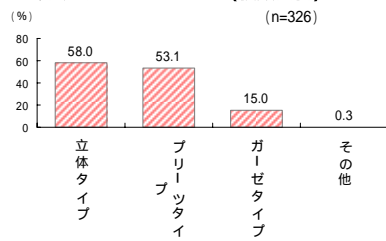
(シティリビングについて詳しくは <http://cityliving.jp/>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

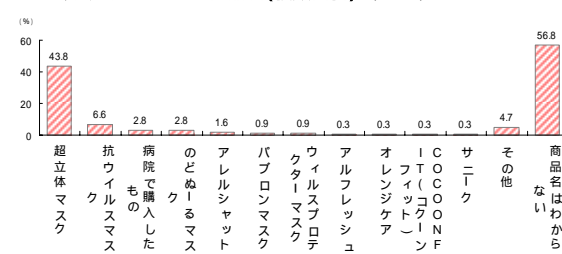
ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

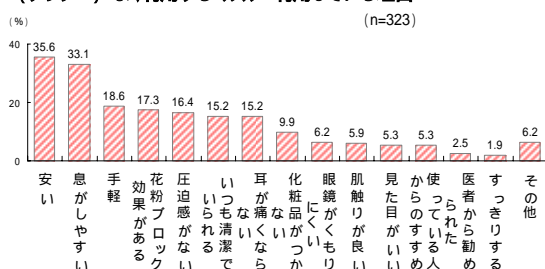
(グラフ) よく利用するマスクのタイプ(複数回答)



(グラフ) よく利用するマスクの商品名(複数回答) (n=317)



(グラフ) よく利用するマスク 利用している理由



(グラフ) マスクの主な購入先(複数回答)

